報道関係各位

株式会社アクティオ

2022 年 5 月23日

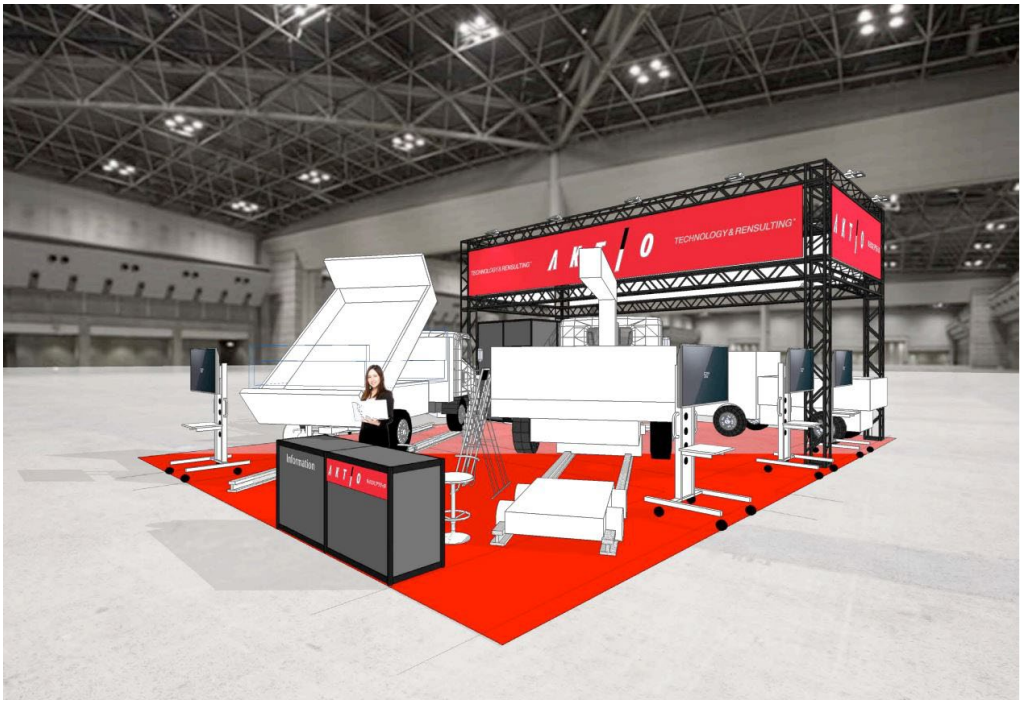
鉄道技術展・大阪に
Mass-Trans Innovation Japan Osaka 2022

アクティオ ブースを出展

インテックス大阪4号館（ブース番号 4G-11）

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ（本社：東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO：小沼直人、以下アクティオ）は、2022 年 5 月 25 日（水）～27 日（金）の 3 日間、西日本方面で初開催となる、鉄道分野の技術が横断的に会する総合見本市「鉄道技術展・大阪」にブースを出展いたします。

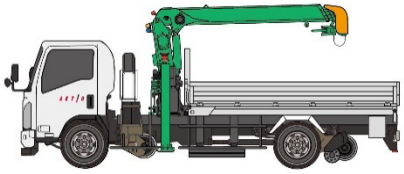


アクティオでは、鉄道分野においてもコンサルティングとレンタルを融合させたレンサルティング®を通じて工事力の維持、向上に必要な機械や機材を改良・開発し、現場のニーズにあわせた様々な鉄道工事用建設機械と技術力を提供しています。

今回、西日本で初開催となる「鉄道技術展・大阪」では、西日本方面の鉄道事業者をはじめとする鉄道事業関係者の皆様に弊社の製品の数々を直接ご覧いただけますよう、2022 年モデル新型軌陸自積載クレーン・ダンプなど5機種をブース内に展示し、レンサルティングの取組事例とともにご紹介いたします。

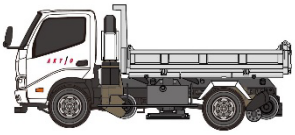
今回のブースでは、アクティオグループの提案力・技術力・開発力・行動力で、様々なニーズに対して、グループシナジーを発揮し、お客様に最適解を提案していきます。

■出展機種



1)新型軌陸自積載クレーン

材料・工具の載せ降ろしにかかる作業を安全に効率化したいという要望に応え開発されました。高さ制限のある現場で有効です。



2)新型軌陸ダンプ

キャビンとベッセルの間を利用者要望に合わせることが可能で工具の持ち運びや管理の効率化を図れます。

3)新型軌道保安車 660

軌道の点検業務を効率よく安全におこないたいとのご要望から開発した軽四サイズの軌陸車。

4)EagleEye ® II

建設機械、産業用車両に取り付け可能な、光や音で危険を知らせる AI カメラ。

5)クローラー型台車(アクロス AKT-600)

配筋やデッキプレートの上、敷鉄板の段差でもスムーズに移動が可能な、クローラー型台車。

■開催概要

名　　称　　鉄道技術展・大阪　Mass-Trans Innovation　Japan Osaka 2022

会　　期　　2022 年 5 月 25 日(水)～27 日(金) 10:00～17:00

会　　場　　インテックス大阪　4・5 号館

主　　催　　産経新聞社

後　　援　　国土交通省近畿運輸局／大阪府／大阪市／大阪商工会議所

出展ブース　　4号館　4G-11

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは

アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営　2014 年　幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専業レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】https://www.aktio.co.jp/
【アクティオ Facebook ページ】https://www.facebook.com/aktio.jp/

■本リリースに関するお問い合わせ先
株式会社アクティオ　広報部　担当:成澤、深沢
TEL:03-6262-7867　FAX:03-6262-7982　e-mail:koho@aktio.co.jp